

情報公開用文書

(単施設の研究用)

西暦 2022 年 3 月 13 日 作成

研究課題名	ミダゾラム鎮静下コンベックス型超音波内視鏡検査(EUS)における リカバリールーム滞在時間に関する検討
研究の対象	2020 年 3 月から 2021 年 10 月の期間、当院外来においてミダゾラム鎮静下 EUS を施行し検査終了時にフルマゼニル投与を行った方を対象とします。対象年齢は 20 歳以上の成人であり、性別は問いません。
研究目的 ・方法	<p>EUS は胆膵疾患診療において不可欠な画像診断モダリティとなっており当院においても検査件数は増加しています。EUS は鎮静下に行い、外来では検査後リカバリールームにて休んだ後、覚醒を確認してから帰宅とするのが一般的であり、当院では検査終了からリカバリールームへの安全な移動のため、禁忌例以外にはフルマゼニル投与を行っています。内視鏡室のキャパシティや人員には限りがあるため、患者の安全を確保しつつリカバリールーム滞在時間を短縮し検査枠を確保することは喫緊の課題です。</p> <p>2020 年 3 月から 2021 年 10 月の期間、当院外来においてミダゾラム鎮静下 EUS を施行し検査終了時にフルマゼニル 0.25mg を単回静注した症例を単回群、フルマゼニル 0.25mg 単回静注+0.25mg 持続静注した症例を持続群とし、リカバリールーム滞在時間に関連する因子を後方視的に比較検討することを目的としました。</p>
研究期間	西暦 2022 年 6 月 10 日（許可日）～ 西暦 2024 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	以下の項目を電子カルテから収集します。 年齢、性別、鎮静薬の種類・投与量、検査時間、検査前後・検査中のバイタル、リカバリールーム滞在時間など
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。</p> <p>また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒222-0036 横浜市港北区小机町 3211 横浜労災病院 消化器内科（研究責任者）高柳 卓矢 電話番号：045-474-8111（代表） FAX：045-474-8323</p>	